

▽新会長に選任された川村正五さん（後中野出身・中央）



どだんばちの曲にあわせて、参加者で盆踊り



（左）三味線の演奏にあわせた
一戸平二さんの民謡。ふるさと
の歌声が会場に響き渡りま
した。



（右）各地区のテーブルでは久
しぶりの再会に会話が弾んで
いました。



ふるさとの味が、ふるさとの音が届く

ふるさと鶴田会



ふるさと鶴田会は、主に関東近郊に在住する鶴田町の出身者や鶴田町にゆかりのある方たちにふるさとを懐かしみ、にぎやかに交流してもらおうと平成十年に発足して以来、毎年多くの方々が参加しています。

七月五日（土）、平成二十六年度のふるさと鶴田会が東京・千代田区の東京グリーンパレスを会場に開催されました。当日は約百四十人の当町出身の方々に参加。参加者の皆さんは旧友との再会を喜び、近況を語り合いながら懐かしいふるさとの味や音を楽しみました。

テーブルの上には、スチューベンワインやリングゴジューズ、サクラソノなどが置かれ、参加者の皆さんは「めえなあ」とふるさとの味に舌鼓を打ちながら、旧友たちとの会話を花を咲かせていました。また、会場では

は町の特産品や道の駅あるじやのオリジナル商品販売。毎年人気の干し餅や新商品のスチューベンカレー、当町のスチューベンと鹿児島県さつま町の芋焼酎のリュウキュウ「葡萄のお酒」(ワイナリー)などが並び、参加者の皆さんがふるさとの味を買い求めていました。

アトラクションでは、会員の小関善隆さんがスコップ三味線の演奏を披露したほか、尾原家万次郎氏が会主を務める尾原家会社中の方々が手踊りを披露。また、第52代県民謡王座の一戸平二さんもステージに立ち、会場を心地よい津軽の音色で盛り上げていました。

また、平成十四年度から会の運営に尽力された出町明夫会長が勇退され、後任に川村正五副会長、副会長に坂本尚雄理事が選任されました。